

## 1. 講義

斎藤嘉朗, 「国立研究機関におけるレギュラトリーサイエンス」, 慶應義塾大学薬学部 (2024.6.25)

斎藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院薬学研究科 (2024.10.29)

佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞（細胞加工製品）の品質・安全性評価」, 東北大学薬学部 (2024.4.24)

Sato Y, 「Introduction to Regulatory Science for Pharmaceuticals」, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University (2024.5.15)

佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概説～医薬品等の有効性・安全性・品質の評価のための科学～」, 東京大学大学院薬学系研究科 (2024.10.7)

佐藤陽治, 「再生・細胞医療に用いられる細胞加工製品（再生医療等製品）の品質・安全性評価」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科 (2024.12.13)

吉田寛幸, 「医薬品の品質保証と一般試験法（日本薬局方）」, 和歌山県立医科大学薬学部 (2024.12.23)

小出達夫, 「医薬品の安定性」, 医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2024.5.21)

坂本知昭, 「品質管理概論」, 医薬品医療機器の品質確保に関する研修コース講義 (2024.5.24)

阿部康弘, 「医薬品の品質確保に向けた取り組みとDDS製剤の品質評価」, 大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.7.5)

柴田寛子, 「抗体医薬品の品質・安全性」, 立命館大学薬学部創薬科学科 (2024.5.10)

柴田寛子, 「バイオ医薬品の品質評価に関する研究」, 2024未来創薬への誘い, 大阪大学薬学研究科 (2024.7.9)

石井明子, 「バイオ医薬品の研究開発とレギュラトリーサイエンス」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2024.6.12)

丸山卓郎, 「生薬の品質の規格化と公定書」, 富山大学大

学院特論講義on-demand (2024.4.11-6.3)

伊藤美千穂, 「漢方製剤等のレギュレーション（一般用と医療用）」, 富山大学大学院特論講義on-demand (2024.4.11-6.3)

伊藤美千穂, 「生薬および漢方製剤等の品質確保について」, 国立保健医療科学院令和6年度医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2024.5.28)

伊藤美千穂, 「天然物医薬品の特性と品質保証」, 大阪大学連携大学院レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.6.21)

政田さやか, 「食薬区分の制度について」, 金城学院大学薬学部集中講義 (2024.9.9)

政田さやか, 「いわゆる健康食品の分析事例について」, 金城学院大学薬学部集中講義 (2024.9.9)

丸山卓郎, 「生薬の修治」, 2024年度漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2024.10.6)

増本直子, 「食品添加物論『既存添加物の規格基準, 分析法』」日本大学生物資源科学部講義 (2024.10.31)

伊藤美千穂, 「伝統医療の国際化の動き」, 2024年度漢方薬・生薬認定薬剤師研修会 (2024.12.8)

緒方潤, 「危険ドラッグ・大麻の現状」, 令和6年度指定薬物分析研修会議 (2025.1.21)

田中理恵, 「指定薬物と危険ドラッグ製品の分析について」, 令和6年度指定薬物分析研修会議 (2025.1.21)

最所和宏, 「いわゆる健康食品中に違法に添加されている強壮系医薬品成分の分析」, 令和6年度指定薬物分析研修会議 (2025.1.21)

馬場まり子, 「乱用が危惧される植物系製品の基原植物について」, 令和6年度指定薬物分析研修会議 (2025.1.21)

井上貴雄, 「核酸医薬の開発動向と今後の展望」, 広島大学大学院医系科学研究科 薬科学特論／薬科学特講 (2024.5.13)

吉田徳幸, 「核酸医薬の現状と展望」, 東京大学大学院薬学系研究科 大学院講義 基礎薬科学特論Ⅱ (2024.6.4)

井上貴雄, 「核酸医薬の開発動向と今後の展望」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.6.14)

吉田徳幸, 「核酸医薬の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科 生命医科学特別講義 (2024.10.4)

井上貴雄, 「核酸医薬の臨床開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 星薬科大学「新規創薬モダリティーと臨床開発」講義 (2024.10.24)

山本栄一, 「医療機器安全学」, 大阪大学薬学部 (2024.8.2)

野村祐介, 「医療機器・材料の安全性の研究における物理化学」, 千葉工業大学 生物物理学2 (2024.11.20)

植松美幸, 「臓器工学特論」, 早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 (2024.11.25, 2024.12.23, 2025.1.27)

山本栄一, 「個別化製剤概論: 医薬品分析技術と物性解析」, 昭和大学薬学部 (2025.1.25)

内山奈穂子, 「単味生薬エキス製剤の開発に資する承認基準及び公定規格について」, 富山大学大学院・医薬理工学環オンデマンド講義 (2024.4.13~6.13)

河上強志, 「生活用品の化学物質とその安全性」, 国立保健医療科学院令和6年度短期研修住まいと健康研修 (2024.6.26)

河上強志, 「衛生化学Ⅰ 家庭用品の安全性に関する法規制等と実際の健康被害事例について」, 名城大学薬学部 (2024.6.28)

久保田領志, 「化粧品学⑫, ⑬, ⑭, ⑮」, 金城学院大学薬学部 (2024.12.13-14)

内山奈穂子, 「【食薬区分, 指定成分, (機能性表示食品)】食品等に関わる規制について」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2025.1.8)

小林憲弘, 「機器分析～機器分析の基礎・無機物の分

析」, 令和6年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2025.1.24)

小林憲弘, 「機器分析～有機物の分析・機器分析の応用～」, 令和6年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2025.1.24)

酒井信夫, 「厚生労働省の研究者の仕事 中学生のためのレギュラトリーサイエンス講座」, 世田谷区立用賀中学校キャリア教育講演 (2025.2.8)

小林憲弘, 「水道水中の有機フッ素化合物 (PFAS) の基準と検査法について」, 令和6年度 地方衛生研究所全国協議会理化学部会 衛生理化学分野研修会 (2025.2.13)

小林憲弘, 「令和7年度の環境省精度管理調査について (実施細則)」, 令和6年度水道水質検査精度管理に関する研修会 (2025.3.13)

内山奈穂子, 「食薬区分, 指定成分, 機能性表示食品等に関わる規制について」, 第一薬科大学・大学院講義. (2025.3.26)

堤智昭, 「食品に含まれる有害物質に対する安全性確保の取り組みー有害物質の摂取量調査を中心にー」, 令和6年度大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構卓越大学院生命医科学の社会実装教育プログラム (2024.6.21)

田口貴章, 「食品に残留する農薬等の規制とその試験法について」, 国立保健医療科学院令和6年度短期研修 食肉衛生検査研修 (2024.6.24)

根本了, 「GC/MSの原理と食品の分析」, 千葉県立保健医療大学 (2024.7.3)

菊地博之, 「キャリアデザインⅡ 食の安全に関わる研究職の紹介」, 日本大学生物資源科学部 (2024.7.17)

堤智昭, 「食品に含まれる有害物質に対する安全確保の取り組み」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.7.26)

Tsutsumi T, 「Activities of division of foods」, JICA研修「食品安全行政」コース (2024.8.29)

田口貴章, 「食品等に含まれる農薬等の分析法につい

て」, 地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静ブロック会議 (2024.9.6)

鈴木美成, 「レギュラトリーサイエンス概論」, 星薬科大学薬学部 (2024.10.23)

田口貴章, 「食品等分析における機器分析について」, 日本食品衛生協会理化学試験の基礎研修 (2024.11.29)

中村公亮, 「食品・医薬品開発工学」, 東京農工大学 (2024.12.11)

鈴木美成, 「衛生薬学ⅡB」, 千葉大学薬学部 (2024.12.23)

中村公亮, 「微生物のバイオテクノロジー」, 千葉県立保健医療大学 (2025.1.6)

堤智昭, 「レギュラトリーサイエンスと食品中の有害物質のリスク管理」, 千葉大学薬学部 (2025.1.6)

多田敦子, 「食品加工学実習：食品添加物, 実習 食品添加物（増粘安定剤）を応用した食品加工（観賞用）」, 千葉県立保健医療大学 (2024.12.19)

多田敦子, 「衛生薬学Ⅰ：食品添加物」, 千葉大学 (2025.1.20)

阿部裕, 「レギュラトリーサイエンス 食品添加物の安全性・規格基準」, 東京農工大学 (2024.10.24)

阿部裕, 「食品添加物論 食品用器具・容器包装, 乳幼児用玩具, 洗浄剤」, 日本大学 (2024.11.1)

阿部裕, 「日本における食品用器具・容器包装等の規制について」, 東京科学大学 (2024.11.5)

阿部裕, 「日本における食品添加物の規制について」, 東京科学大学 (2024.11.5)

阿部裕, 「レギュラトリーサイエンス 食品用器具・容器包装, 洗浄剤, 乳幼児用玩具の安全性・規格基準について」, 東京農工大学 (2024.11.14)

六鹿元雄, 「食品添加物等のリスク評価とリスク管理」, 岩手大学 (2024.9.25)

上間匡, 「食品安全」, 国立感染症研究所実地疫学専門家

養成コース初期導入研修 (2024.5.13)

山崎栄樹, 上間匡, 「外部検証で実施する微生物検査の評価法」, 国立保健医療科学院令和6年度食肉衛生検査研修 (2024.6.18)

岡田由美子, 「リストリアによる食品汚染と食中毒」, 国立保健医療科学院令和6年度食肉衛生検査研修 (2024.6.24)

百瀬愛佳, 「ボツリヌス症について」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生危機管理研修 (2024.9.26)

上間匡, 「ウイルス性食中毒」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生危機管理研修 (2024.9.27)

山崎栄樹, 大城直雅, 上間匡, 「食中毒事例検討演習」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生危機管理研修 (2024.10.4)

遠矢真理, 山崎栄樹, 上間匡, 「食品衛生監視指導演習」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生監視指導研修 (2024.11.27-2024.12.3)

岡田由美子, 「食品衛生学」, 和洋女子大学 (2024.5.16, 5.23, 6.20, 7.11)

遠矢真理, 「獣医細菌学ビブリオ目など」, 東京大学農学生命科学研究科獣医学専攻 (2024.12.6)

遠矢真理, 「獣医細菌学Mycoplasma, Chlamydia」, 東京大学農学生命科学研究科獣医学専攻 (2025.1.10)

Mari Tohya, 「Overview of whole genome sequencing by NGS (Next Generation Sequencing)」, SATREPS program: Establishment of innovative antimicrobial resistance (AMR) surveillance system using next-generation sequencing and development of simple AMR detection tools optimized for Myanmar (2024.10.22)

Mari Tohya, 「History of bacterial identification」, SATREPS program: Establishment of innovative antimicrobial resistance (AMR) surveillance system using next-generation sequencing and development of simple AMR detection tools optimized for Myanmar (2024.10.24)

渡辺麻衣子, 「食品・環境に分布する真菌とその検査」, 令和6年度岩手大学農学部食品衛生学実習 (2024.6.25)

吉成知也, 「食品を汚染するかび毒－検出法, 汚染実態, 健康への影響－」, 麻布大学・食のレギュラトリーサイエンス (2024.7.8)

渡辺麻衣子, 「食品・環境に分布する真菌とその検査」, 令和6年度岩手大学農学部食品衛生学実習 (2024.9.25)

大西貴弘, 「ウエルシュ菌食中毒」, 国立保健医療科学院・令和6年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2024.9.27)

新井沙倉, 「病原大腸菌による食中毒について」, 国立保健医療科学院・令和6年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2024.10.10)

渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査と制御」, 国立保健医療科学院令和6年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2024.10.11)

吉成知也, 「動物性自然毒食中毒」「有害物質」「食品添加物」「生体反応・微生物抑制」, 北里大学・食品衛生学 (2024.10.25, 11.29)

渡辺麻衣子, 「動物衛生学実習」, 東京農工大学農学部共同獣医学科動物衛生学実習 (2024.11.13, 11.27, 12.4, 12.11, 12.18)

新井沙倉, 「腸内細菌科」「グラム陽性芽胞形成桿菌, グラム陽性無芽胞性桿菌, 放線菌関連菌」, 東京大学農学部・細菌学講義 (2024.11.29, 12.27)

吉成知也, 「食品を汚染するかび毒－検出法, 汚染実態, 健康への影響－」東洋大学・食品科学特別講義 (2025.1.23)

大西貴弘, 「ウエルシュ菌の基礎と食中毒の原因食材に関する最新知見」, 令和6年度特別区職員研修所 専門研修「食品衛生」 (2025.2.22)

大西貴弘, 「食中毒予防対策（ウエルシュ菌を中心として）」, 令和6年度川崎市職員研修会 (2025.3.4)

出水庸介, 「ICH-M7の日本薬局方への取り込み「第十九改正日本薬局方及び国際調和に向けて」」, 局方

CMC研修講演会, Web (2025.3.21-28)

出水庸介, 「PROTACの開発の現状と展望」, 第41回メディシナルケミストリーシンポジウムランチョンセミナー, 京都 (2024.11.21)

出水庸介, 「中分子ペプチド医薬品開発に向けた規制上の課題と取組」, 第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会, 東京 (2024.9.14)

出水庸介, 「有機化学の役割と共に描くレギュラトリーサイエンスの未来」, 創立150周年記念特別衛研シンポジウム, 神奈川 (2024.8.6)

出水庸介, 「ペプチド医薬品の開発動向と規制ガイドライン」, 日本プロセス化学会2024サマーシンポジウム, 長崎 (2024.7.4)

出水庸介, 「PROTACの合理的デザイン」, 21世紀を明るく科学する会2024, 静岡 (2024.6.29)

出水庸介, 「ペプチド医薬品の開発動向と規制ガイドライン」, 立命館大創剤・製剤技術研究コンソーシアム研究会, Web (2024.6.28)

出水庸介, タンパク質分解医薬品の開発の現状と展望, 第28回日本がん分子標的治療学会学術集会シンポジウム「新世代医薬品の展望」, 東京 (2024.6.21)

三澤隆史, 「ヘリカルテンプレートペプチドを利用したDDSキャリアへの応用」, 第61回ペプチドランチョンセミナー, 愛知 (2024.10.29)

三澤隆史, 「放射性医薬品の品質・安全性向上の資する取り組み」, 日本放射性医薬品講演会, 東京 (2025.1.10)

横尾英知, 内山奈穂子, 「固体NMR及びMicroEDを用いた医薬品原薬の構造解析」, 第30回春のJAIANミーティング, 東京 (2024.6.4)

横尾英知, 「Development of Targeted Protein Degradation via the Ubiquitin-Proteasome System and Deployment of Molecular Modalities」, 第47回日本分子生物学会年会シンポジウム「プロテインノックダウンが切り開くシン・バイオロジー」 (2024.11.29)

爲廣紀正, 「食品安全のリスク評価について」, 麻布大学

生命・環境科学部食品生命科学科 食品安全学Ⅱ  
(2024.5.13)

原矢佑樹, 「先端的医薬品に関するレギュラトリーサイエンスの現状と課題」, 京都薬科大学医薬品レギュラトリーサイエンス概論 (2024.5.14)

原矢佑樹, 「先端的医薬品に関するレギュラトリーサイエンス研究」, 京都薬科大学医薬品レギュラトリーサイエンス概論 (2024.5.21)

柴田識人, 「ゲノム編集技術を利用した食品等とその取扱い」厚生労働省令和6年食品安全行政講習会 (2024.6.12)

曾我慶介, 「バイオテクノロジー応用食品の安全性」, 麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科 食品安全学Ⅱ (2024.6.17)

爲廣紀正, 「食品安全のリスク評価」, 昭和女子大学 食品安全評価学特別講義 (2024.6.17)

Soga K, 「Regulation of Genetically Modified (GM) and Genome-Edited (GE) Foods in Japan」, JICA研修「食品安全行政」コース (2024.8.29)

曾我慶介, 「バイオテクノロジー応用食品の安全性」, 岩手大学農学部 食品安全管理学 (2024.9.25)

柴田識人, 「遺伝子組換え食品について」国立保健医療科学院食品衛生危機管理コース (2024.9.27)

渡邊敬浩, 「食品におけるMRL設定の国際標準を俯瞰する」, 消費者庁食品衛生基準審査課残留農薬等基準審査室研修 (2025.3.26)

渡邊敬浩, 「食品分析の常識・非常識」, 消費者庁食品衛生基準審査課残留農薬等基準審査室研修 (2025.3.26)

苑暁藝, 渡邊敬浩, 「農薬のMRL設定のための食品分類の作成に向けて」, 消費者庁食品衛生基準審査課残留農薬等基準審査室研修 (2025.3.26)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和6年度厚生労働省新人獣医研修 (2023.4.11)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和6年度厚生労働省イン

ターンシップ1回目 (2024.9.3)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和6年度厚生労働省インターンシップ2回目 (2024.9.10)

窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生危機管理研修 (2024.10.9)

登田美桜, 「Food safety risk analysis」, 北海道大学大学院農学研究院 (2024.7.10)

登田美桜, 「Food poisoning by Natural toxins -Toxic plant-」, 北海道大学大学院農学研究院セミナー (2024.7.11)

登田美桜, 「食品中化学物質のリスクアセスメント」, 国立保健医療科学院令和6年度食品衛生危機管理研修 (2024.10.8)

登田美桜, 「食品衛生学：自然毒による食中毒」, 千葉県立保健医療大学 (2024.11.26)

花尻（木倉）瑠理, 「医薬品と乱用薬物, 1. 亂用薬物について」, 千葉大学衛生薬学ⅡA講義 (2024.5.20)

花尻（木倉）瑠理, 「医薬品と乱用薬物, 2. 危険ドラッグはなぜ危険なのか」, 千葉大学衛生薬学ⅡA講義 (2024.5 On-demand)

花尻（木倉）瑠理, 「医薬品と乱用薬物」星薬科大学司法と薬学講義 (2024.5.10)

花尻（木倉）瑠理, 「法規制薬物と植物」東京農業大学特別講義 (2024.6.12)

花尻（木倉）瑠理, 「医薬品と乱用薬物」東京大学大学院基礎薬科学特論Ⅱ講義 (2023.6.25)

花尻（木倉）瑠理, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学薬学部新薬開発論講義 (2024.12.23)

荒川憲昭, 「医薬品開発とバイオマーカー」, 東北大学薬学部新薬開発論講義 (2024.12.16)

青木良子, 「新興感染症（COVID-19等）と闘うための

情報の収集、解析、評価、提供」、東京大学薬学部衛生化学講義 (2024.7.17)

孫雨晨、「質量分析計を用いた生体試料中薬物濃度分析及びバイオマーカー分析の実践について」、東京薬科大学薬品分析化学特論講義 (2024.7.28)

諫田泰成、「新しい医療の実用化を加速するレギュラトリーサイエンス～医薬品の安全性・毒性評価～」、東京大学薬学部講義 (2024.12.6)

諫田泰成、「基礎研究と規制の橋渡しに向けた取り組み－新しい医療の実用化を加速するレギュラトリーサイエンス－」、九州大学第7回創薬産学官連携セミナー（アカデミア創薬／第33回システム創薬リサーチコア研究会との合同開催）、九州大学 (2025.1.22)

最上由香里、「血液脳関門生体模倣システム (BBB-MPS) の開発と社会実装・行政受容を目指す研究」、広島大学大学院医学系科学研究科 薬科学特論講義 (2024.7.8)

山崎大樹、「医薬品の心臓安全性評価法とヒトiPS心筋細胞の創薬応用」、北里大学薬学部 薬理・薬物学特論 (2024.5.22)

山崎大樹、「MPSの社会実装・規制利用に向けた取り組み／心臓MPSを用いた試験系の開発」、JMPC第168回定例会 (2024.7.16)

山崎大樹、「オンチップポンプ型MPSを用いたヒト肝－心共培養系による代謝物を考慮した催不整脈リスク予測」、EPOC/CPOTレクチャー形式セミナー【MPS：医薬品開発における生物模倣システムの開発最前線】(2024.11.26)

山崎大樹、「次世代創薬ツールとして注目される生体模倣システム (MPS) の現状と今後」、日本薬学会東海支部特別講演会 (2025.1.20)

山崎大樹、「生体模倣システム (MPS) の社会実装・規制受容に関する最新動向」、金沢大学レギュラトリーサイエンスシンポジウム (2025.2.13)

山崎大樹、「IVIVEとヒト細胞資源の活用による安全性評価技術のヒト予測性向上」、令和6年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2024.3.19)

川岸裕幸、「心筋の機能解析」、信州大学大学院総合医理工学研究科 器官・組織・細胞機能研究方法特論 (2024.6.14)

豊田武士、「ピロリ菌感染スナネズミ腺胃（誘発性変化）」、日本毒性病理学会 2024年度第1回病理組織研修 Webinar (2024.7.21)

豊田武士、小川久美子、石井雄二、松下幸平、高須伸二、赤根弘敏、赤木純一、畠山瑞穂、「食の安全性確保における病理学の役割」、武庫川女子大学インターンシップ (2024.10.7～11)

豊田武士、小川久美子、石井雄二、松下幸平、「化学物質リスク評価における毒性試験、発がん性試験を学ぶ」、名古屋市立大学大学院インターンシップ (2024.11.8)

津田雅貴、「生命理学概論」、広島大学大学院統合生命科学研究科 (2024.5.31)

津田雅貴、「放射線と自然科学」、広島大学教養教育 (2024.6.17)

杉山圭一、「ゲノム安全学」、大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.6.28)

井上薰、「リスクアセスメント・リスクマネージメント」（オンデマンド動画配信）、第27回日本毒性学会基礎教育講習会 (2024.4.24～2025.3.31)

山田隆志、「化学物質のヒト健康影響評価に資するリードアクロス－行政リスク評価への適用を目指して－」(Online)、2024年度日本動物実験代替法学会企画委員会主催講習会 (2024.8.28)

増村健一、「化学物質の定量的リスク評価手法」、大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2024.7.12)

## 2. 講演

斎藤嘉朗、「治療用放射性医薬品の非臨床試験と臨床試験デザインに関するガイドライン（案）」、国立がん研究センター FIOC特別セミナー (2024.11.19)

斎藤嘉朗、「新医薬品等の開発・評価に貢献する国立衛研のレギュラトリーサイエンス研究」、AMED 第10回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

佐藤陽治, 「ジェネリック医薬品を信頼していただくために」, 川崎市市政100周年・国立医薬品食品衛生研究所創立150周年記念 合同市民公開講座 (2024.6.2)

Sato Y, 「*In Vivo* and *In Vitro* Studies for Evaluation of Tumorigenicity of Cell Therapy Products」, KALAS 2024 Conference, Jeju, Korea (2024.7.26)

佐藤陽治, 「「ジェネリック医薬品の安心」を支えるレギュラトリーサイエンス」, 国立医薬品食品衛生研究所創立150周年記念特別衛研シンポジウム (2024.8.6)

Sato Y, 「Regulatory Considerations in Japan for Ensuring the Quality and Safety of iPSC-derived Products」, 2024 iPSC Research, Clinical Application, and Regulatory Considerations, Taipei, Taiwan (2024.9.11)

佐藤陽治, 「再生医療の臨床応用・品質確保に薬理学の考え方を生かす」, 第25回応用薬理シンポジウム (2024.9.16)

佐藤陽治, 「細胞加工製品の品質管理・製造における細胞の特性の理解の重要性」, 令和6年度「再生医療で描く日本の未来研究会」第2回 (2024.9.25)

Sato Y, 「NRMD & REAP: the Clinical Databases for Regenerative Medicine in Japan」, 2024 Advanced Regenerative Medicine Forum, Seoul, Korea (2024.10.28)

Sato Y, 「Comparisons of the Perspectives of ISSCR's Standards for Human Stem Cell Use in Research with the Japanese Regulatory Perspective」, ISSCR-Asian Regulatory Agencies Meeting, Tokyo, Japan (2024.11.8)

佐藤陽治, 「生物由来原料の品質: 再生医療のための細胞バイオテクノロジーを支えるもの」, HVC KYOTO 2024 ポストイベント シンポジウム—ますます広がっていく細胞バイオテクノロジーとしての再生医療関連ビジネスとは— (2024.12.3)

佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の安全性評価と品質確保のためのレギュラトリーサイエンス」, 薬学振興会 先端創薬科学講座セミナー (2024.12.20)

佐藤陽治, 「バイオ医薬品・再生医療等製品の品質に関する最近の規制動向: ICH Q5A (R2) のご紹介と生物由来原料基準の国際調和のための課題について」, 関西医薬品協会技術研究委員会バイオ医薬品分科会セミナー (2025.1.14)

佐藤陽治, 「生物由来原料基準の国際化に向けたレギュラトリーサイエンスの視点」, 第9回PMDAレギュラトリーサイエンス研究会 (2025.1.21)

Sato Y, 「Regulatory Requirements for Pluripotent Stem Cell (PSC) Banking and Characterization」, Pluripotent Stem Cells: Summit on Setting Standards and Shaping Therapies, Edinburgh, UK (2025.2.13)

佐藤陽治, 「再生医療に用いられる細胞加工製品の特性の理解と価値向上のための拠点づくり」, ヘルスイノベーション・カンファレンス殿町2025 (2025.2.21)

佐藤陽治, 「NRMDとREAP: 日本再生医療学会が構築・運用する再生医療等の臨床データベース」, 日本臨床試験学会第16回学術集会総会 (2025.2.28)

佐藤陽治, 「NRMD & REAP: 再生医療のリアルワールドデータの蓄積を目指した臨床データベース」, 第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.20)

佐藤陽治, 「AMED経産省事業から見た院内でのヒト(同種)細胞原料の取扱いについて」, 第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.21)

佐藤陽治, 「再生医療/細胞加工製品の価値の科学的理 解」, 第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.22)

佐藤陽治, 「細胞加工製品の品質評価技術や関連情報へのアクセスの確保」, 第24回日本再生医療学会総会 (2025.3.22)

吉田寛幸, 「生物学的同等性に関するレギュラトリーサイエンス研究」, 第4回令和の薬剤学を考える懇談会(第59回薬剤学懇談会研究討論会) (2024.6.11)

吉田寛幸, 「医薬品の生物学的同等性試験概要及びICH-M9, M13ガイドラインの動向」, 2024年度製造・品質管理/品質保証・薬事(品質)エキスパート研修講座 (2024.10.22)

吉田寛幸, 「局所皮膚適用製剤（半固体製剤）のBE試験実施に関する基本的考え方とガイドラインへの反映」, 第14回経皮投与製剤FGシンポジウム (2025.3.12)

Tatsuo Koide, 「Challenges on USP-JP harmonization from Pilot Project on drug substances and drug products monographs」, USP-MHLW/PMDA joint workshop (2024.9.10)

小出達夫, 「Q1/Q5C EWG: 医薬品の安定性試験ガイドラインの改訂」, 第50回 ICH即時報告会 (2024.12.18)

Tamaki Miyazaki, 「JP's measures for DEG/EG issues.」, 4th USP Convention Asia Pacific Regional Chapter Meeting (2024.9.9)

坂本知昭, 「OOT/OOSの適正管理について」, 静岡県令和6年度第1回医薬品製造業者等品質管理講習会 (2024.9.9)

坂本知昭, 「品質リスクマネジメント解説 (ICH Q9) - 医薬品の開発から製造, ライフサイクル全般の基盤となるアプローチ手法として -」, 2024年度 製造・品質管理／品質保証・薬事（品質）エキスパート研修講座 (2024.10.8)

坂本知昭, 「革新的製造技術に対応したプロセス評価技術の開発及びCMC開発の標準化に関する研究」, 第10回 AMEDレギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

坂本知昭, 佐々木哲朗, 「流通医薬品の品質確保に向けたテラヘルツ分光法を用いた医薬品の品質評価手法の開発」, 令和6年度生体医工学共同研究拠点成果報告会 (2025.3.3)

坂本知昭, 「非破壊・非接触分光センシング技術を用いた医薬品連続生産工程におけるPAT評価技術の開発」, 令和6年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2025.3.19)

Abe Y, 「Current Regulatory Landscape of Pharmaceutical Excipients in Japan」, USP-MHLW/PMDA Joint Workshop (2024.9.10)

Abe Y, 「Quality Control of Pharmaceutical Excipients」, The 22nd ASEAN & Japan High Level Officials

Meeting on Caring Societies (2024.11.26)

阿部康弘, 「脂質ナノ粒子製剤の品質確保に向けた評価法の開発に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

阿部康弘, 「医薬品添加物の国際調和」, 東京医薬品工業協会研修講演会 第十九改正日本薬局方及び国際調和に向けて (2025.3.21)

石井明子, 西村仁孝, 山元智史, 橋井則貴, 「未来の薬エクソソーム」, 第54回 Tonomachi Cafe (2024.4.12)

石井明子, 「未来の医薬品「エクソソーム」。もっと知りたい「エクソソーム」のこと～細胞間の情報伝達を担う細胞外小胞に関する基礎知識～」, iCONM/CHANGE 学術セミナー (2024.7.9)

柴田寛子, 「新規参考情報 フローイメージング法によるバイオテクノロジー応用医薬品（バイオ医薬品）原薬／製剤中の不溶性微粒子の評価法について」, 第25回日本薬局方に関する研修会 (2024.7.25)

石井明子, 「モダリティのライフサイクルとレギュラトリーサイエンス -バイオ医薬品からの学び-」, 創立150周年記念特別衛研シンポジウム (2024.8.6)

柴田寛子, 「新規参考情報 フローイメージング法によるバイオ医薬品の不溶性微粒子評価法について」, 関西医薬品協会 研修講演会「第十八改正日本薬局方第二追補について」 (2024.8.29)

Shibata H, 「Q2(R2)/Q14 Summary and JP perspective」, USP-MHLW/PMDA joint Workshop (2024.9.10)

柴田寛子, 「ICH Q2 (R2) 「分析法バリデーション (改)」及びQ14「分析法の開発」ガイドライン概略」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 ICH Q2 (R2) 「分析法バリデーション (改)」及びQ14「分析法の開発」ガイドラインを取り巻く動向及び解説－効率的な活用に向けて－ (2024.10.1)

石井明子, 「生物学的製剤・バイオ医薬品の品質確保における公定書の役割～生物学的製剤基準と日本薬局方の連携及び薬局方国際調和の現状～」, 第21回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2024.12.10)

石井明子,「抗体医薬品開発の品質・安全性・薬物動態評価Update」, JBA創薬モダリティ基盤研究会(2025.1.10)

石井明子,「バイオ医薬品・バイオシミラーの品質と規制」, レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会短期集中型 2024年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2025.2.12)

石井明子,「薬効群別にみたバイオシミラーの特徴について」, 長崎県福祉保健部薬務行政室 第6回ジェネリック医薬品使用促進に係る研修会 (2025.2.17)

柴田寛子,「バイオ医薬品製剤中の不溶性微粒子評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2025.3.19)

原園景,「インタクト分析を利用したバイオ医薬品の品質評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会(2025.3.19)

日向昌司,「LC/MSを用いた宿主細胞由来タンパク質の評価法」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会(2025.3.19)

橋井則貴,「抗体薬物複合体の新規薬物分析法の開発と標準化」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会(2025.3.19)

石井明子,「先端的バイオ医薬品の最適な実用化促進のためのCMC分野における創薬基盤技術の高度化に関する研究」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会(2025.3.19)

田中誠司,「植物由来の健康食品の品質評価及び安全性担保に関する研究」, 日本食品化学学会第30回総会・学術大会 (2024.5.23)

伊藤美千穂,「紅麹関連製品に係る事案の原因究明の取組状況について」, 日本腎臓学会学術総会シンポジウム31: 紅麹腎障害の現状と対応 (2024.6.30)

増本直子,「天然物由来製品の安全性・有効性確保に関する研究」, 令和6年度第1回衛研例会 (2024.7.19)

伊藤美千穂,「桂皮エトセトラー植物学的分類とベトナムを中心にー」, 京都大学東南アジア地域研究研究所薬用植物研究会 (2024.7.30)

伊藤美千穂,「よりよく知ろう健康食品・サプリメント」, 蘭越町薬用植物栽培振興講演会 (2024.8.22)

伊藤美千穂,「天然物医薬品とその周りの品質保証」, 第41回和漢医薬学会学術大会 (2024.8.24)

伊藤美千穂,「においは薬になりますか?」, 第43回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム (2024.8.30)

伊藤美千穂,「日本薬局方の改正に関する話題一天秤・薄層クロマトグラフィーを中心にー」, 和歌山県合同講習会 (2024.9.13)

伊藤美千穂,「生薬行政の最近のトピックス」第39回生薬に関する懇談会 (2024.10.5)

田中誠司,「日本薬局方でのNMRの多彩な活躍」, 第10回食品薬学シンポジウム (2024.10.12)

ITO M,「Quality assurance of Natural Medicines in Japan – What is described in Japanese Pharmacopoeia –」, The 8th China-Japan-Korea Pharmacopoeia Forum and 1st Asia-Pacific Traditional Medicine Quality Conference (2024.10.13)

伊藤美千穂,「日本薬局方とそのまわりの生薬に関する話題を中心に」, 令和6年度日本生薬学会関西支部秋期講演会 (2024.10.25)

増本直子,「既存添加物の品質確保のための基礎研究」, 第120回日本食品衛生化学技術協議会年会 (2024.11.8)

ITO M,「Japanese Pharmacopoeia (JP) and International Harmonization of Herbal Medicine」, PMDA-ATC Herbal Medicine Review Seminar 2024 (2024.11.12)

緒方潤,「大麻取締法等の改正の要点」, 第61回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会薬事部門 (2024.11.22)

増本直子,「最近増えています, 日本薬局方でのNMR」, 第52回生薬分析シンポジウム (2024.11.28)

田中誠司, 細江潤子, 新井玲子, 内山奈穂子, 増本直子, 伊藤美千穂, 石附京子, 杉本直樹, 鈴木梓<sup>1</sup>, 浅野龍二<sup>1</sup>, 五十嵐靖<sup>1</sup>, 三浦亨<sup>2</sup>, 武藤康弘<sup>2</sup>, 末松孝子<sup>3</sup>, 小松功典<sup>3</sup>, 日向野太郎<sup>4</sup>, 古川茶勲<sup>4</sup>, 鳩田典基<sup>5</sup>, 合田幸広<sup>6</sup>, 「相対モル感度を利用したチョウトウコウ

配合漢方処方エキス中のリンコフィリンおよびヒルスチンの定量法（RMS法）の確立」  
第52回生薬分析シンポジウム（2024.11.28）

\*<sup>1</sup> (株) ツムラ

\*<sup>2</sup> 富士フィルム和光純薬（株）

\*<sup>3</sup> 日本電子（株）

\*<sup>4</sup> 大正製薬（株）

\*<sup>5</sup> (株) 常磐植物化学研究所

\*<sup>6</sup> 富山県薬事総合研究開発センター

ITO M, 「Standardization of herbal medicines in Japan and useful technologies described in Japanese Pharmacopoeia」, International Symposium on Standardization (2024.11.29)

伊藤美千穂, 「紅麹を含む健康食品の健康被害事案原因究明チームのひとりとして働きました」, 衛研鳥津第4回技術交流会（2024.12.5）

伊藤美千穂, 「紅麹を含む機能性表示食品による事故の調査経緯について」, 日本薬学会第145年会 環境・衛生部会衛生試験法委員会シンポジウム（2025.3.27）

井上貴雄, 「核酸医薬 – 治療法のない疾患を救う新しいくすり –」, 薬物送達学セミナー（2024.5.1）

井上貴雄, 「核酸系モダリティの規制整備に向けた取り組み – 国産ワクチンの開発促進を念頭に –」, CAMaD Seminar on Vaccine Development (2024.6.6)

吉田徳幸, 「核酸医薬開発の現状と規制整備に向けた取り組み」, 第29回創剤フォーラム若手研究会（2024.9.12）

井上貴雄, 「核酸医薬およびmRNA医薬の規制整備に向けた取り組み」, 第32回DDSカンファレンス（2024.9.13）

井上貴雄, 「mRNA医薬の開発動向と展望」, BioJapan 2024 (2024.10.11)

井上貴雄, 「核酸医薬の臨床開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 医療系産学連携人材育成プログラム (2024.10.15)

吉田徳幸, 「核酸医薬の安全性確保に向けた取り組み – 毒性の予測と回避 –」, 国立医薬品食品衛生研究所 創立150周年記念シンポジウム（2024.10.18）

井上貴雄, 「核酸系モダリティの開発動向と品質・安全性・薬物動態評価」, 徳島大学大学院医歯薬学研究部 DDS 研究センター 2024年度第2回シンポジウム (2024.11.5)

井上貴雄, 「核酸医薬およびmRNA医薬の規制整備に向けた取り組み」, 富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会・講演会（2024.11.8）

井上貴雄, 「核酸医薬とmRNA医薬 – いま脚光を浴びている新しい薬 –」, 化学への招待 講演会「健康を支える化学」(2024.11.16)

井上貴雄, 「核酸医薬の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 第12回次世代モダリティセミナー (2024.11.19)

井上貴雄, 「核酸医薬不純物のオフターゲット作用に関する検討」, 核酸医薬品の製造・精製・分析基盤技術の開発 第3回公開シンポジウム (2024.11.22)

井上貴雄, 「核酸医薬およびmRNA医薬の臨床開発動向と評価科学」, 東京理科大学薬学部 レギュラトリーサイエンス研修講座 (2024.11.27)

井上貴雄, 「mRNAを用いた医療モダリティの品質評価及び管理に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

山本武範, 「アデノ随伴ウイルスベクターを用いた遺伝子治療用製品の安全性評価法に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

築茂由則, 「新興感染症パンデミックに備えた核酸増幅検査薬の性能評価手法に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

山本武範, 「AAVベクター製品の開発動向と規制の現状」, 第20回核酸・遺伝子医薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム「アデノ随伴ウイルス (AAV) ベクター製品の安全性評価の考え方」(2024.12.6)

山本武範, 「アデノ随伴ウイルスベクターを用いた遺伝子治療用製品の品質安全性に関する取り組み」, 日本遺

伝子細胞治療学会 若手セミナー2024 (2024.12.13)

井上貴雄, 「Development Trends and Prospects for Modalities that Control Disease at the level of RNA」, 第124回KMCF公開セミナー (2024.12.17)

山本武範, 「遺伝子治療用製品等の品質管理」, レギュラトリーサイエンス財団 2024年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2025.2.14)

井上貴雄, 「核酸搭載脂質ナノ粒子 (LNP) 製剤の開発動向と品質・安全性評価」, JBA創薬モダリティ基盤研究会講演会 (2025.3.5)

井上貴雄, 「動物試験で検出困難な毒性を予測するオフターゲット評価法の確立」, 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2025.3.19)

山本栄一, 「遠心フィールドフローフラクショネーションを用いるナノ医薬品の物性プロファイリング」, 第40回日本DDS学会学術集会 (2024.7.11)

Nakaoka R, 「Introduction of ISO/TC 194 - Importance of international standards (ISO) for medical device regulation」, The Biological Safety Evaluation Lecture at PMDA (2024.7.31)

中岡竜介, 「Introduction of ISO/TC 194」, タイ王国「医薬品登録制度の国際調和に関する能力強化: ISO 10993に関するトレーニングセミナー」 (2024.10.2)

山本栄一, 「イノベーションと医療機器のレギュラトリーサイエンス」, 第14回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2024.9.14)

野村祐介, 「脱細胞化組織を利用した医療機器の評価」, 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2024 (2024.10.29)

Nakaoka R, 「Activities of ISO/TC 150/SC 7 Tissue-engineered medical products」, The second Liangzu Forum: 2024 Medical Silk Sci-Tech and Biomaterial Transformation (2024.11.16)

野村祐介, 「遺伝毒性試験代替を目指した化学分析に関する研究」, 日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.29)

加藤玲子, 「医療機器の刺激性試験動物実験代替法に向けた取り組み」, 日本動物実験代替法学会 第37回大会 (2024.11.29)

山本栄一, 「医療機器分野での動物実験代替法開発 – ISOにおける日本のあり方と今後の戦略を考える –」, 日本動物実験代替法学会第37回大会 (2024.11.29)

野村祐介, 「脱細胞化組織を利用した医療機器の品質及び安全性評価法の開発に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

野村祐介, 「医療機器の生物学的安全性評価の精度管理と標準材料開発に関する研究」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

山本栄一, 「薬物と医療機器の融合が拓く次世代医療の可能性」, 日本薬学会第145年会 (2025.3.27)

小林憲弘, 「水道水質検査の基礎と応用 1 基礎編: 告示法・通知法を理解するためのポイント」, 水道水質・環境分析セミナー2024 (2024.4.18)

小林憲弘, 「水道水質検査の基礎と応用 2 応用編: 検査方法の最新情報と水質検査の将来予測」, 水道水質・環境分析セミナー2024 (2024.4.18)

内山奈穂子, 横尾英知, 「固体NMR及びMicroEDを用いた医薬品原薬の構造解析」, 第29回Japan Analytical Instruments Active users Network (JAIAN) ミーティング (2024.6.4)

小林憲弘, 「水環境中の有機フッ素化合物 (PFAS) の規制動向および分析上の課題と展望」, 第31回クロマトグラフィーシンポジウム (2024.6.5)

内山奈穂子, 「定量NMRの基礎及び医薬品、食品分野等における定量NMRの実装について」, 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 技術セミナー (2024.9.10)

小林憲弘, 「水道水質検査におけるスクリーニング分析の社会実装に向けた進捗と課題」, 環境科学会2024年会シンポジウム「水質スクリーニング分析の社会実装における課題と提言」 (2024.9.10)

小林憲弘, 「有機フッ素化合物 (PFAS) の水質分析における課題と展望」, 第50回BMSコンファレンス記念シンポジウム (2024.9.19)

酒井信夫, 「室内空气中化学物質の規制に関する最新情報」, 第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

小林憲弘, 「水道水質基準と検査方法に関する最新情報」, 第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

河上強志, 「家庭用品に関する情報提供」, 第61回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.22)

小林憲弘, 「水道水中の農薬分析におけるGC/MSスクリーニング分析の実運用化の取り組み」, 統計数理研究所共同研究「令和6年度 統計学的アプローチによる問題解決のための環境化学分析の最適化・高度化に関する研究集会」 (2024.11.29)

河上強志, 「医療機器における皮膚障害事例解析2024」, 第36回パッチテスト・プリックテスト 2024福島 ハンズオンセミナー (2024.12.22)

内山奈穂子, 「多核qNMRを用いた医薬品の絶対純度の測定」, 日本薬剤学会・物性FGセミナー2024 (2025.2.28)

山崎由貴, 「EUにおけるQuEChERSの現状と今後の展望」, 2024残留農薬分析国際交流会セミナー (2024.6.18)

堤智昭, 「福島第一原子力発電所事故後の食品中の放射性物質への対応と今後」, 創立150周年記念特別衛研シンポジウム (2024.8.6)

鈴木美成, 「質量分析などを用いた評価方法について」, 日本食品化学学会第40回食品化学シンポジウム (2024.11.15)

鍋師裕美, 「福島第一原子力発電所事故以降の日本における食品中の放射性物質の規制と現状～事故後12年間の調査研究データを中心に～」, 第53回日本環境変異原ゲノム学会 (2024.12.8)

志田(齊藤) 静夏, 「残留農薬等分析における試料調製と抽出について」, 令和6年度食品衛生登録検査機関協会 残留農薬等研修会 (2025.1.31)

山崎由貴, 田口貴章, 「QuEChERS法基礎講座」, 食品

衛生登録検査機関協会残留農薬等研修会 (2025.1.31)

高橋未来, 「PFAS規制に関する最近の動向」, 令和6年度汚染物質研修会 (2025.2.20)

鈴木美成, 「レギュラトリーサイエンスと食品安全に貢献する有害元素分析」, プラズマ分光分析研究会第124回講演会 (2025.3.24)

杉本直樹, 「食品添加物の化学的安全性の確保」, ifia JAPAN2024 (2024.5.22)

杉本直樹, 「食品科学における定量分析の役割」, 日本食品化学学会第30回総会学術大会 (2024.5.23)

杉本直樹, 「第10版食品添加物公定書の主要な改正のポイント」, 日本食品添加物協会拡大情報連絡会 (2024.6.28)

杉本直樹, 「第10版食品添加物公定書の主要な改正ポイント」, 2024年度日本食品添加物協会・東海・北陸ブロック主催 食品添加物研修会 (2024.7.23)

杉本直樹, 「食品添加物の品質確保」, 創立150周年記念特別衛研シンポジウム (2024.8.6)

多田敦子, 「第10版食品添加物公定書における改正のポイント」(一般試験法, 指定添加物), 第29回 ifia JAPAN 2024 日本食品化学学会第30回大会 一般公開セミナー (2024.5.23)

多田敦子, 「食品中の食品添加物分析法の妥当性確認ガイドラインについて」, 第15回 FDSC 食品衛生精度管理セミナー (2024.7.26)

多田敦子, 「第10版食品添加物公定書の主要な改正ポイント」, 2024年度日本食品添加物協会・広島支部主催 食品添加物研修会 (2024.7.30)

多田敦子, 「食品中の食品添加物分析法に関する動向」, 第22回 食品安全フォーラム 食品添加物のレギュラトリーサイエンス (2024.12.6)

多田敦子, 「食品中の食品添加物分析法改訂の動向および妥当性確認ガイドラインについて」, 第5回日本食品衛生学会北海道・東北ブロックセミナー (2025.2.28)

建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法妥当性確認ガイドラインについて」, 令和6年度食品検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2024.6.13)

建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法妥当性確認ガイドラインについて」, AOAC INTERNAIONAL JAPAN SECTION 第27回年次大会シンポジウム (2024.7.23)

建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法妥当性確認ガイドラインについて」, 令和6年度地域保健総合推進事業九州ブロック地域専門家会議 (2024.10.24)

建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法妥当性確認ガイドラインについて」, 令和6年度地域保健総合推進事業中国・四国ブロック地域専門家会議 (2024.10.25)

阿部裕, 「第10版食品添加物公定書における改正のポイント」, ifia JAPAN2024 (2024.5.23)

阿部裕, 「第10版食品添加物公定書の主要な改正ポイント」, 2024年度日本食品添加物協会・九州支部主催 食品添加物研修会 (2024.7.11)

阿部裕, 「既存添加物の規格設定の動向」, 第22回食品安全フォーラム (2024.12.6)

六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装の規格基準の改正について」, 令和6年度第1回公衆衛生専門技術研修 (2024.7.2)

六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装のPL化と規格基準の改正」, 育児用品衛生連絡協議会講演会 (2024.10.11)

窪崎敦隆, 「日本で新しい食品添加物を使うために必要なもの」, 第29回 ifia JAPN 2024 日本食品化学学会第30回大会一般公開セミナー (2024.5.24)

窪崎敦隆, 「第10版食品添加物公定書の主要な改正ポイント」, 2024年度日本食品添加物協会・東北支部主催 食品添加物研修会 (2024.7.26)

窪崎敦隆, 「食品添加物部会 (Codex Committee on Food Additives, CCFA)」, シンポジウム「コーデックス委員会を理解する – 食品衛生基準行政の移管を機に」 (2024.11.19)

窪崎敦隆, 「食品添加物の指定及び使用基準改正の要請

について」, 第22回 食品安全フォーラム 食品添加物のレギュラトリーサイエンス (2024.12.6)

岡田由美子, 「食品及び製造環境のリストリア検査」, 品質保証懇話会 (2024.4.18)

岡田由美子, 「食品中の微生物を検出するための国内標準試験法の策定について」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所細菌検査の基礎及びサルモネラ属菌の試験法に関する実習 (2024.9.25)

吉成知也, 「食品中に混入するカビ毒の健康への影響と試験法について」, 第65回近畿食品衛生監視員研修会 (2024.9.20)

大西貴弘, 「クドアと食中毒」, 第24回人と動物の共通感染症研究会学術集会 (2024.10.19)

吉成知也, 「食品中に混入するかび毒の健康への影響と分析法について」, 第24回人と動物の共通感染症研究会学術集会 (2024.10.19)

大西貴弘, 「我が国の水産食品におけるアニサキス汚染状況」, 第56回ビブリオシンポジウム (2024.10.31)

渡辺麻衣子, 「シンポジウム—建築環境における微生物研究の現状とこれから—, 住環境における微生物の発生事例とその健康リスク」, 日本微生物生態学会第37回大会 (2024.10.31)

吉成知也, 「新興かび毒に関する分析法の開発や食品における汚染実態等の研究について」, 第61回全国衛生化学協議会年会 (2024.11.22)

吉成知也, 「MALDI-TOF/MSを用いた臨床検体中のSARS-CoV-2検出法の開発」, 第4回国立衛研・島津技術交流会 (2024.12.5)

吉成知也, 「紅麹サプリメントによる健康被害の原因究明について」, 令和6年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸支部衛生化学部会 (2025.2.14)

吉成知也, 「デオキシニバレノールの基準値設定の経緯及び試験法について」, 令和6年度(一社)食品衛生登録検査機関協会汚染物質研修会 (2025.2.20)

大西貴弘, 「アニサキス食中毒リスク評価に関する調査

研究」, 令和6年度食品健康影響評価技術研究成果発表会 (2025.2.26)

出水庸介, 「有機化学が支えるレギュラトリーサイエンス: 医薬品開発と違法薬物対策」, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科創薬プロセス特論Ⅱ, 長崎 (2025.1)

出水庸介, 「中分子ペプチド医薬品の品質及び安全性評価に関する研究」, 第10回レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム, 東京 (2024.12.3)

出水庸介, 「多様なモダリティを活用した創薬研究」, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科先端創薬化学講演会 2024, 岡山 (2024.10)

出水庸介, 「タンパク質分解医薬PROTACの合理的デザイン」, 愛媛大学PROSセミナー&大学院特別講義, 愛媛 (2024.10)

出水庸介, 「多面的創薬アプローチ: モダリティの融合と革新」, 大阪公立大学創薬科学特殊講義, 大阪 (2024.9)

出水庸介, 「多様なモダリティを活用した創薬研究」, 慶應義塾大学理工学部特別講義, 神奈川 (2024.7)

出水庸介, 「化学が拓く未来: 医薬品開発と違法薬物対策」, 慶應義塾大学理工学概論, 神奈川 (2024.7)

出水庸介, 「有機化学を基盤とした創薬へのアプローチ」, 横浜市立大学生命医科学特別講義, 横浜 (2024.6)

出水庸介, 「医薬品開発と違法薬物対策を支えるレギュラトリーサイエンス」, 長崎国際大学薬学部特別講義, 長崎 (2024.6)

出水庸介, 「多面的創薬アプローチ: モダリティの融合と革新」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科創薬生命科学特別講義1, 名古屋 (2024.5)

正田卓司, 「レギュラトリーサイエンスの活性化と進歩に貢献できる有機化学研究」, 神戸薬科大学薬学部講義 (2024.5.24)

爲廣紀正, 「食物アレルゲン表示制度における検査法の改正について」, ifia/HFE Japan (2024.5.23)

爲廣紀正, 「アレルギー物質を含む食品の表示制度と検

査法」, 第21回美味技術学会シンポジウム (2024.6.6)

柴田識人, 「ゲノム編集食品の事前相談・届出制度における安全性確保の取り組みについて」, 一般社団法人日本植物バイオテクノロジー学会 公開シンポジウム「ゲノム編集食品の社会実装・国産技術, 規制, 社会受容の観点から…」 (2024.6.20)

爲廣紀正, 「食物アレルギー物質に関する法規制動向と検査技術」, 第3回Food Hygiene and Safety コミュニティ (2024.6.26)

田口千恵, 「ゲノム編集食品の安全性確認の考え方と今後の課題」, 令和6年度京都酒造工業研究会講演会 (2024.7.18)

爲廣紀正, 「基礎から学ぶ特定原材料表示～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所食物アレルギー検査実習 (2024.8.28)

曾我慶介, 「ゲノム編集食品の安全性確保に向けた国衛研の取り組みと今後の展望」, 国立衛研創立150周年記念シンポジウム (2024.10.18)

原矢佑樹, 「リポソーム医薬品の同等性/同質性の確保に向けた单一粒子分析法の研究」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

渡邊敬浩, 「コーデックス分析・サンプリング法部会における考え方の基本と最新動向について (2024年)」, 令和6年度 (一財) 登録検査機関協会主催精度管理研修会 (2024.11.27)

渡邊敬浩, 「コーデックス残留農薬部会 (CCPR) の役割と最新動向について (2024年)」 Codexシンポジウム - Codexを理解する・食品衛生基準行政の移管を機に-, 厚生労働行政推進事業研究班, 厚生労働省, 消費者庁, 農林水産省, 食品安全委員会, 東京大学 (2024.11.19)

渡邊敬浩, 「食品分析試験所の品質保証に関する世界の常識・非常識」, (公財) 日本乳業技術協会主催令和6年度生乳検査技術社連絡会 (2025.1.31)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行 - 分析法への要求と分析

結果の品質保証（業務管理要領の改訂・測定の不確かさ）－」、（公財）日本適合性認定協会主催JAB認定審査員研修会、（2025.2.5）

登田美桜、「コーデックス食品汚染物質部会」、Codexシンポジウム－Codexを理解する・食品衛生基準行政の移管を機に－、厚生労働行政推進事業研究班、厚生労働省、消費者庁、農林水産省、食品安全委員会、東京大学（2024.11.19）

登田美桜、「自然毒による食中毒の発生動向について」、令和6年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会（2024.11.29）

登田美桜、「食品安全、どう考える？」、令和6年度世田谷保健所主催リスクコミュニケーション（2024.12.9）

花尻（木倉）瑠理、「大麻とカンナビノイド」、日本法中毒学会第43年会教育講演（2024.6.29）

花尻（木倉）瑠理、「大麻とカンナビノイド－日本における流通と法規制の変化」、2024年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会シンポジウム「危険ドラッグの乱用・流通の現状と有害評価作用研究の最前線」講演（2024.9.21）

花尻（木倉）瑠理、「大麻とカンナビノイド」、順天堂大学シンポジウム、令和6年度痛みと心のカンファレンス講演（2025.1.14）

花尻（木倉）瑠、「大麻とカンナビノイド」、令和6年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第37回理化学研究部会特別講演（2025.2.7）

荒川憲昭、「SomaScanデータを起点とした新規問質性肺炎バイオマーカータンパク質の探索と臨床応用」、スタンダード・バイオツールズ株式会社、無料ウェビナー、血液バイオマーカー研究の最前線：新たな発見と臨床応用への展望（2025.2.19）

Kimie Sai、「Characteristics of Asian ICSR Reporting – Signal Comparison from Diabetes Drugs, and Other Related Topics」、WHODrug User Group meeting Japan 2024（2024.11.26）

五十嵐智女、「生物学特殊講義4（安全性関係）」、中央

大学理工学部生命科学科 3学年講義（2024.4.13）

大久保佑亮、「発生生物学」、横浜国立大学講義（2024.7.17）

北嶋聰、「毒性学分野における獣医師の重要性と最先端毒性研究の紹介」、東京大学農学部獣医学専修 毒性学実習 特別講義（2024.12.2）

高橋祐次、「*in vivo* 毒性試験と代替法の展望－安全性評価の将来に向けた動物実験の再考－」、東京都健康安全研究センター 動物実験適正管理講習会（2024.12.3）

高橋祐次、「第1部：動物実験概論、第2部 *in vivo* 毒性試験研究者が考える代替法の将来展望」、独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 令和6年度安衛研動物実験に関する教育訓練（2024.12.5）

横田理、「生殖細胞の発生・分化と化学物質毒性」、熊本大学大学院生命科学研究部大学院講義 熊本（web）（2025.1.25）

横田理、「医薬品開発の迅速化・高度化に資する「次世代型」雄性生殖毒性評価法の開発」、第10回日本医療研究開発機構 レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム（2024.12.3）

横田理、「—レギュラトリーサイエンス研究の新機軸—医薬品開発の迅速化・高度化を見据えた“新規”生殖毒性評価法の開発研究」、AMED iD 3 キャタリストユニット 第18回Top Runners in TRS（web）（2024.6.14）

横田理、「キャリアパスケーススタディ（経験談）アカデミア」、第51回日本毒性学会学術年会（2024.7.3）

高橋祐次、「小児用医薬品開発のための非臨床安全性試験－ICH S11ガイドライン－」、第10回子どもの薬を創る会セミナー（2024.7.22）

横田理、「雄性生殖発生毒性評価におけるNew Approach methodologyの開発研究」、第6回日本生殖発生毒性フォーラム（2024.7.25）

大久保佑亮、「生殖発生毒性試験代替法の*in vitro*発生毒性試験法について」、2023年度安研協定期総会及び講演会（2024.11.8）

堀内新一郎, 小原隆, 山崎大樹, 「ヒト肝細胞培養における細胞のQuality Control checkへのAI画像解析ソフトウェアCell pocketの応用」, 第4回国立衛研×島津技術交流会 (2024.12.5)

川岸裕幸, 劉星明, 坂本勇太, 樋口裕一郎\*, 柳田翔太, 上原正太郎\*, 末水洋志\*, 謙田泰成, 「ヒト肝臓キメラマウスのヒト肝細胞を用いた*in vitro* DILI評価法」, 国立衛研・島津製作所 第4回技術交流会 (2024.12.5)

\* 実中研

柳田翔太, 川岸裕幸, 謙田泰成, 「ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた抗がん剤による機能的/器質的な心毒性評価」, 国立衛研・島津製作所 第4回技術交流会 (2024.12.5)

川岸裕幸, 「小児用医薬品のDILIリスク評価バッテリーの構築に向けた非臨床試験の高度化研究」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.6)

柳田翔太, 「ヒトiPS細胞技術とAI・機械学習を用いた統合的な抗がん剤心毒性評価法の開発と国際標準化」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.6)

小川久美子, 「食品添加物 二酸化チタンの安全性を取り巻く状況と安全性再評価」, ILSI Japan 食品リスク研究部会主催勉強会 (2024.8.29)

松下幸平, 「化学物質の腎毒性評価」, 幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム2024年度研究会 (2024.12.10)

小川久美子, 「毒性病理学からみたがん研究の展望と課題」, 第3回横濱がんセミナー (2024.12.19)

足利太可雄, 「動物実験代替法の国際動向と国内行政受け入れの取り組み」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム 第18回教育セミナー (2024.9.26)

大野彰子, 「食品分野に含まれるナノ粒子の健康影響」, 科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会 第30回講演会 (2024.10.9)

Gisslén M<sup>\*1</sup>, Andres F<sup>\*1</sup>, Abdallah A<sup>\*2</sup>, Ali H<sup>\*3</sup>,

Tanabe S, Pester A<sup>\*2</sup>, Greneche N<sup>\*4</sup>, 「qGANを用いた創薬における純粋量子ジェネレーターの役割」, 国立情報学研究所オープンハウス2024 (2024.6.7)

\*1 国立情報学研究所

\*2 The British University in Egypt, Cairo, Egypt

\*3 University of Nebraska at Omaha, Omaha, NE, USA

\*4 University of Sorbonne Paris North, France

Hak F<sup>\*1</sup>, Andres F<sup>\*1</sup>, Abdallah A<sup>\*2</sup>, Ali H<sup>\*3</sup>, Tanabe S, Pester A<sup>\*2</sup>, Greneche N<sup>\*4</sup>, 「高度な知識グラフ統合とマルチモーダルデータ解析による創薬の強化: カスタマイズされた治療予測に焦点をあてて」, 国立情報学研究所オープンハウス2024 (2024.6.7)

\*1 国立情報学研究所

\*2 The British University in Egypt, Cairo, Egypt

\*3 University of Nebraska at Omaha, Omaha, NE, USA

\*4 University of Sorbonne Paris North, France

増村健一, 「化学物質のリスク評価手法について」, 令和6年度大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構卓越大学院「生命医科学の社会実装教育プログラム」見学会 (2024.7.21)

関野祐子<sup>\*1</sup>, 筒井泉雄<sup>\*1</sup>, 金村米博<sup>\*2</sup>, 田邊思帆里, 吉田祥子<sup>\*3</sup>, 「神経毒性・発達神経毒性試験の代替法のOECDTG提案を目指したAOP475公定化のためのバリデーション研究」, 2024年日化協LRI研究報告会 (2024.8.23)

\*1 東京大学大学院農学生命科学研究科

\*2 国立病院機構大阪医療センター

\*3 豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター

田邊思帆里, 「医薬品等の安全性予測評価に係る分子ネットワークパスウェイ解析に関する研究開発」, 第10回日本医療研究開発機構レギュラトリーサイエンス公開シンポジウム (2024.12.3)

田邊思帆里, カデール サビーナ<sup>\*1</sup>, 小野竜一, カブラル オラシオ<sup>\*2</sup>, パーキンス エド<sup>\*3</sup>, 佐々木博己<sup>\*4</sup>, 「医薬品等の安全性予測評価分子ネットワークパスウェイ解析」, 国立衛研・島津製作所 第4回技術交流会 (2024.12.5)

\*1 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)

\*<sup>2</sup> 東京大学大学院工学系研究科

Center (ERDC), USA

\*<sup>3</sup> U.S. Army Engineer Research and Development

\*<sup>4</sup> 国立がん研究センター研究所